

2013年第1四半期： Android マルウェアの情勢は変わるか

(2013年5月14日ヘルシンキ発 - フィンランド本社発表資料抄訳)

エフセキュアセキュリティラボによる最新版のモバイル脅威レポートには、アプリ関連以外で初めて配布されたものを含め、Android マルウェアの最新リストが記載されています。脅威の数は引き続き増加しています。

2013年第1四半期は、Android への脅威を取り巻く状況をさらに複雑化させた最新の Android マルウェアによって特徴づけられました。エフセキュアセキュリティラボの最新版モバイル脅威レポートによると、同四半期は、アプリ以外では初となるスパムメールによる Android 脅威の配布、Android を標的とした初めての攻撃、Android では初の金銭詐取を目的としたものが検出されました。また、Android マルウェアのコモディティ化が進んでいることも明らかになりました。

新しいモバイル脅威のファミリーや亜種の数はい引き続き増加しており、前四半期の 100 から 49%増の 149 になりました。そのうち Android を対象としたものが 139 (91.3%) を占め、残りの 13 (8.7%) は Symbian を対象としたものでした。2013 年の第 1 四半期の検出数は、61 の新種のファミリーや亜種が発見された 1 年前の 2012 年第 1 四半期に比べ 2 倍以上となりました。

エフセキュアセキュリティラボでセキュリティアドバイザーを務めるショーン・サリバンは、新しい Android マルウェアの手法が懸念材料であると言います。「このように説明してみましょう。私の母はアプリに関心がないので、今までは母が使っている Android については心配していませんでした。しかし Stels のように Android マルウェアがスパム経由で配布されるようになった今は、母が携帯電話で e メールをチェックすることを心配しなければならなくなりました」と、彼は述べています。

Stels は Android デバイスを標的とするトロイの木馬で、アメリカ合衆国内国歳入庁を偽装した e メールによって拡散しました。これは Android クライムウェアキットを使ってデバイスから個人情報盗み出し、プレミアム課金用の番号に電話をかけて金銭を詐取するものです。これはモバイルマルウェアのコモディティ化の例でもあり、サリバンによれば「情勢を一変させる可能性がある」ということです。

同四半期にはモバイル環境において初めて Android を対象とした攻撃が見られました。チベットの人権活動家を標的に Android マルウェアに感染しているファイルが添付された e メールが送られたほか、人気コーヒーチェーンの「クーポンアプリ」を偽装したマルウェアが、韓国の国番号を持つ電話の情報を盗み出しています。

金銭の詐取をねらったマルウェアが Android で初めて検出されたことからわかるように、インドにおいてもモバイルが標的となっています。インドにおける「ジョブオファー」を装った Android アプリは、インドの多国籍企業であるタタ・グループで求人検討されていることをユーザに知らせるものです。このアプリは面接を行うという名目で返金可能と称する保証金を要求します。

アドウェア、Perkele によるコモディティ化など、最新のモバイル脅威の詳細については、完全版の「2013年第1四半期モバイル脅威レポート」(http://www.f-secure.com/en/web/labs_global/)をご覧ください。

エフセキュアセキュリティラボでは、個別のサンプル数ではなく、マルウェアファミリーや亜種の数をつかえることに注力しています。サイバー犯罪者たちはマルウェアが検出されないように、マルウェアのコードを自動的に少しだけ変えているため、同じマルウェアファミリーや亜種であっても、新しいマルウェアサンプルとなります。したがってサンプルではなく、ファミリーや亜種の数をつかえることが、より実際の脅威の測定になると考えています。

エフセキュアは Android のスマートフォンやタブレットに世界最高水準の保護を提供し、お客様の端末を一般的なあらゆる脅威から効果的に守ります。F-Secure モバイルセキュリティの 30 日間無料体験版を http://www.f-secure.com/ja/web/home_jp/mobile-security?icid=682、または Google Play <http://play.google.com/store/apps/details?id=com.fsecure.ms.dc> からダウンロードしてください。

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

エフセキュア株式会社 会社概要



<http://www.f-secure.co.jp/>

エフセキュアは、IT 先進国フィンランドで 1988 年に設立されて以来、23 年にわたりセキュリティ製品に取り組んでいる業界の先駆者で、世界規模でセキュリティサービスを提供しています。1999 年に OMX ヘルシンキ証券取引所に上場し、以来、順調に成長を続けている株式公開企業のひとつです。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2009 年 5 月に日本法人設立満 10 周年を迎えました。

会社名:	エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ:	アリエン・ヴァン・ブロックランド
所在地:	〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F
設立:	1999 年 5 月
事業内容:	セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社

マーケティング部

Tel: 03-5545-8942 Fax: 03-5545-8945

Email: japan@f-secure.co.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館 6F

URL: <http://www.f-secure.co.jp/>

Blog: <http://blog.f-secure.jp/>